

2022年2月1日

滋賀県湖南市と 「子育て支援事業等に関する包括連携協定」を締結

子育て、食育、防災など5分野において締結

江崎グリコ株式会社は、家族で共に取り組む育児「Coparenting(コペアレンティング)※1」社会の実現を目指す「Co 育て PROJECT(こそだてプロジェクト)※2」の一環として、1月19日(水)に滋賀県湖南市との間で「子育て支援事業等に関する包括連携協定」を締結しました。

※1 Coparenting: 米国で提唱された育児に関する概念。夫婦などの家族間でのコミュニケーションや育児協力を推進し、子育て環境を良好にするための研究テーマ。
 ※2 Co 育て PROJECT: 江崎グリコが展開するプロジェクトの名称。Communication(和気あいあいと)・Cooperation(上手に協力しながら)・Coparenting(一緒に子どもを育てる)の3つの“Co”を取った造語で、赤ちゃんや家族のココロとカラダの健康を実現する子育てスタイル「Co 育て」の実践普及を目指す。

■子育てにおける課題の解決に向けた産官協働の取り組み

江崎グリコと滋賀県湖南市は、2022年1月19日(水)に、「子育て支援事業等に関する包括連携協定」を締結しました。その内容は、同市在住または在勤の子育て世代を対象に Co 育ての実践促進を両者協働で進める取り組みです。当社が販売する「保存用ビスコ」や乳児用液体ミルク「アイクレオ 赤ちゃんミルク」などの商品の他、子育てアプリ「こぺ」やオンライン両親学級「Co 育てプログラム」などのサービスも活用する予定です。

<連携分野>

- 妊娠期・出産期の支援に関すること
- 子育て期の支援に関すること
- 食育推進に関すること
- 男女共創型子育て社会の実現に関すること
- 防災・減災対策および災害時における支援に関すること



滋賀県湖南市 生田邦夫市長(右)と
当社 執行役員 江口あつみ(左)

■江崎グリコと滋賀県湖南市

【江崎グリコ】

“事業を通じ社会に貢献する”をテーマに、創業以来、子どものココロとカラダの健やかな成長に寄与する事業に取り組んできました。妊娠からの1000日間を子どもの基礎をつくる大切な時期と捉え、その時期の子育ての課題解決を目指す「Co 育て PROJECT」を2019年にスタートしました。家族のコミュニケーションや育児協力を促し、良好な関係づくりを促進する取り組みを全国で展開しています。



【滋賀県湖南市】

『安心して子育てができる湖南市』を目指して、新しく生まれた命が健やかに育つよう、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援構築を図っています。令和2年度には市内の中学校区4か所に「子ども家庭総合センター」を設置し、子育て相談・支援体制の充実に取り組んでいます。今後は、コロナ禍においても安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備をより進めていきます。

Glico グループは、「子どものココロとカラダの健やかな成長」に寄与するという使命とともに、「Co 育て PROJECT」を社会のために役立て、より豊かな生活の実現に貢献し続けます。